

中学校3年 道徳の時間 学習指導案

「健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方」

日 時：平成 年 月 日（ ）

場 所：

授業者： 教諭 前川 和宏

1 単元名（主題名・題材名）

調和のとれた生活 「たまにはメール来なくてもいいかも？」

2 単元（主題・題材）について

(1) ねらいについて

- 長寿社会を迎え、今や心身の健康は社会を生き抜く基盤であり、若い時より、望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康に関心を持ち、健康的な生活を実践する必要がある。また、自己の人生を豊かにし、充実した人生を送るためには、様々な場において、限りある時間を大切にし、節度と摂生に心掛け、調和ある生活の実現に努めることが大切である。本資料の「わたし」の生活態度を通して、どう自分をコントロールして、節度と調和のある充実した生活を実践していけばよいかということに気付かせたい。

(2) 児童（生徒）の実態について

- 本学級は、男子〇〇人、女子〇〇人、計〇〇人の学級である。発表することに抵抗を持っているものの、男女仲はよく何事にも意欲的に取り組む集団である。毎月、本校が独自で行っているライフスキルチェックや質問から、価値項目に関連する実態は以下の通りである。

（平成22年9月3日調査）

- ① 普段、携帯やメール、ゲームなどに使用している時間はどれくらいですか？
30分：〇人、1時間：〇人、1時間30分：〇人、2時間：〇人、2時間以上：〇人
- ② 普段、何時ごろ寝ますか？
10時前：〇人、10時：〇人、11時：〇人、12時：〇人、12時以降：〇人
- ③ 自分はよく考えて行動し、節度ある生活ができていると思いますか？
そう思う：〇人、少しそう思う：〇人、あまりそう思わない：〇人、そう思わない：〇人

まだ携帯電話の所有率は低く、プロフ等を持っている生徒も少ない。また、節度ある行動ができている意識は高いものの、携帯やゲーム、メール等の利用時間がかなり多い生徒も見られる。受験生であるこの時期に、携帯電話を事例とした本資料を使い、節度ある生活について考えさせることは、残された中学校生活をより充実させる事につながる。

(3) 資料について

- 本資料は、携帯電話の利用を再考しようとする前向きな主人公「わたし」の心情を理解させ、携帯電話の利用方法について、「節度」の面から考えさせる資料である。携帯電

話の所持率が低い実態から、資料を読ませるだけでは現実感が迫ってこない。現実的な問題であるというイメージを持たせるため、補助資料の動画で教材への共感を高め価値へせまらせる。

【補助資料】

アニメーション教材「さよならが言えない」(図1) モバイル社会研究所より <http://www.moba-ken.jp/>
 パンフレット教材「みんなのケータイ2」(図2) モバイル社会研究所より <http://www.moba-ken.jp/>
 ネットや携帯利活用校内実態調査 (図3)



図1



図2

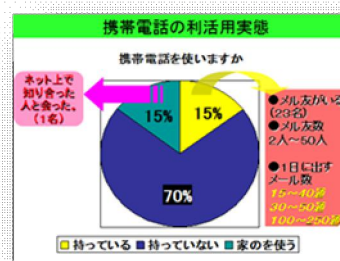


図3

(4) 指導にあたって

- 日常感、現実感を与えるために補助資料の動画でイメージをつかませ、終末部分では学校での携帯電話の利用実態調査結果を知らせる。
- 資料を通して感じた言葉を、その都度、取り上げ学級全体へ広げていく。
- 主人公の「わたし」にどんな言葉をかけさせるか考えさせることで、資料を通して自己の生活を振り返らせたい。

(5) 情報モラル教育の視点から

- ア 本時は、「モデルカリキュラム」の目標「2. 3 安全への知恵」、項目「f 4-1: 健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる」との関連を重視して展開する。
- イ 導入時に補助教材(動画)を使い、日常生活と関連づけ、共感する箇所を指摘させることで、自他の安全や健康を害するような行動を抑制できるようにする。
- ウ 節度ある生活が維持されるよう、ライフスキルカードでのチェックを継続していく。

(6) 人権教育の視点




- ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。


4 本時の学習

(1) 目標

健康や時間の大切さを自覚し、節度と節制に努め調和のある生活をする。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問	児童（生徒）の反応	指導上の留意点と評価	備考
導入 5分	<p>①生活習慣について振り返る。 「節度ある生活がおくれていますか？」</p> <p>②携帯電話をめぐる動画アニメーションを見る（1分30秒）。</p>  <p>③共感するところはどこか考え発表させる。</p>   <p>【別れのさよならが言えず寝不足になる登場人物の様子】 「このアニメを見て共感するところはありませんか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習課題 節度ある生活とは何か考えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜遅くまで起きてしまいます。 ・時間の使い方が悪いです。 ・私は携帯をもっていないけどありそうな話だな。 ・私と似ている。 ・なかなかメールを切れないところ。 ・夜、遅くまで携帯をしているところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分の生活を振り返らせる。 ・最後の「さよなら」が言えず、別れ際ののびていき、深夜のメールになる場面を、自分自身の生活と重ねて考えさせる、「別れ際って難しいよね、そんなことあるよね？」等の問いかけを行っていく。 ・携帯電話やメールを日常的に使用していない生徒にはメール交換のイメージがわきにくいため、メールを電話と置き換えて考えさせる。また、隣同士で共感するところはどこか考えさせる。 	
展開 40分	<p>④「さよなら」が言い出せない本当の理由は何か考える。</p> <p>⑤資料「たまにはメール来なくてもいいかも」を読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で何か言われる。 ・信じられない。でも、わかるような気がする。 ・どうして落ち着かないのか、携帯だけに頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達からどのように見られるのかという意識（自己意識や他者意識）が携帯等の利用行動に大きな影響を与えていることを全体で確認する。 ・生徒を指名し輪読させる。 	

	<p>み、考える。</p> <p>ア 「わたし」の朝の状況をどう思うか。</p> <p>イ 「学校はフツーに楽しい」と言っているのに、「うわべだけの会話だ」と感じている「わたし」の心をどう思うか。</p> <p>ウ メールで落ち着かない「わたし」の態度をどう思うか。</p> <p>⑥「たまには、夜に全くメールが来ない日があってもいいかな。」と考えるようになったのはどうしてなのか考える。</p> <p>⑦コミュニケーションの違いを知る。</p> <p>⑧「わたし」に言葉をかけるとすれば、あなたはどんな言葉をかけるか。</p> <p>⑨携帯等の実態調査の結果を知らせる。</p> 	<p>ってしまっているのがおかしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私と似ている。 ・落ち着かないなんて変だと思う。 ・意志が弱い。 ・親が携帯を買ってあげたのが間違いのもと。 ・メールや携帯に振り回されている自分自身が嫌になったから。 <p>親との関係もメールのせいで微妙になってきたから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単に出来る反面、言葉だけだと難しい。 ・大丈夫。みんなわかってくれるよ。 ・よい判断だと思います。我慢することも必要ですよ。 ・そんな実態があったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導しながらア～ウの質問を投げかけていく。 ・「メールならば本音が言える」と考える「わたし」について、自分の経験等を交えて話し合わせ、異なる考えを引き出すよう配慮する。 ・メールに頼りすぎる「わたし」への疑問が引き出せるようにする。 ・「みんなのケータイ2」(抜粋)を配布し、メールと日常会話の違いを確認する。 ・昨年度の3年生では3割が携帯を利用し、メル友が50名以上いる生徒や、一日のメールが100通以上の生徒もいた現実を知らせる。 	
<p>終末 5分</p>	<p>⑩授業の感想を書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 	

6 全体計画

情報モラル（中目標）	道徳、各教科・特別活動 他
a4-1：情報社会における自分の責任や義務について考え行動する。	道徳 「たまにはメール来なくてもいいかも？」 1-(1) 節度「健康や時間の大切さを自覚し、節度と節制に努め調和のある生活をする。」（本時） 心の触れ合い「ごあいさつのすすめ」2-(1) 礼儀
b4-1：個人の権利・人格権・肖像権などを尊重する。 b4-2：著作権などの知的財産権を尊重する。	道徳 規則の意義「二つの手紙」4-(2) ・社会の秩序と規律 技術【関連】技：TRY「著作物の利用の仕方」（知的財産権）
c4-2：情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。 c4-3：契約の基本的な考え方を知りそれに伴う責任を理解する。	社会「社会の発展と新しい人権」 ・知る権利とプライバシーの権利との関連を考える。 家庭 わたしたちの消費と環境「消費者としての自覚をもとう」 ・悪質な商法の種類やトラブルについて理解し、契約の意味を知る。
d4-2：トラブルに遭遇したとき主体的に解決を図る方法を知る。	家庭 わたしたちの消費と環境「消費者としての自覚をもとう」 ・トラブルへの対処法を考えることができる。
e4-1：情報の信頼性を吟味できる。（2年時）	技術 情報とわたしたちの生活「インターネットで情報を収集しよう」（情報の信憑性） ・インターネットによる情報収集の方法について理解する。 【関連】「情報伝達の方法を調べてみよう」 ・いろいろな情報を伝達する手段の特徴や利点について調べ、比較する。
f4-1：健康の面に配慮した情報メディアとの関わり方を意識し行動できる。	国語 【関連】「メディア社会を生きる」 ・メディア社会やメディアの働きに関心を持つ。
g4-1：情報セキュリティの基礎的な知識を身につける。	社会 情報社会と私たちの責任 ・情報社会の一員として責任ある行動の必要性を理解する。
h4-1：基礎的なセキュリティ対策が立てられる。	道徳 規則の意義「二つの手紙」 ・社会の秩序と規律 4-(2)
I4-1：ネットワークの公共性を意識して行動する。	社会 マルチメディアの活用「現在の情報通信ネットワーク」 ・インターネット等（マルチメディア）の利用分野を知る。 【関連】道：プラットフォーム「よりよい情報社会のために」